



知床らうす国民健康保険診療所

平成28年度 看護師広域連携事業

地域プライマリ相互研修プログラム

看護師広域連携事業

概 要

NO.1

1. 看護師広域連携の必要性

北海道特に道東地区は、医療偏在の大きな地域であり、看護師不足が常態化している。

近年のへき地に対する看護師派遣会社からの斡旋は、高額契約や看護師業務内容の指定など、医療機関内での不平等感、また、転職が看護師のスキルアップに繋がらない問題を抱えている。

看護協会の基本理念にもあるように「看護師が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり」が、看護の質の向上に繋がるものと考え。看護職は地域の財産であるという考えのもと、都市部やへき地など様々な地域での医療を知り、学び、判断できる看護師を育てていかなければ「病院から在宅へ」という医療の変換の流れに対応できる看護職が不足していくことが考えられる。

この看護師広域連携では「地域医療を守り、看護師を育てる」という視点のもと、双方にとり、魅力あるものにしていきたいと考える。

2. 羅臼町の概要

<羅臼町の人口・位置・産業について>

北海道の東部知床半島の根室海峡側に位置し、平成17年に世界自然遺産に登録され、人口5,500人の漁業の町です。診療所からは、知床連山を見上げ、根室海峡・国後島を見渡し、大自然に囲まれた地域です。夏は知床の山々のトレッキング・登山。根室海峡に集まるクジラやシャチ・海鳥たちを身近で体感できるクルーザー、真冬の流氷下のダイビングなどアウトドアの楽しみがたくさんあります。

・人口構成 年少人口：12.7% 生産年齢人口：63.1% 老年人口：24.2%

・出生数（率） 39名（6.8%）

・死亡数（率） 67名（11.7%）

※平成25年末統計

・公設民営国保診療所（通所リハ併設） 1

・地域密着型小規模特別養護老人ホーム（26床） 1

・認知症対応型共同生活介護 グループホーム（2ユニット） 1

・小規模多機能施設 高齢者下宿（25定員） 1

・サービス付高齢者住宅（26定員） 1

・デイサービスセンター 2

・地域包括支援センター 1

・居宅介護事業所 2

・歯科診療所 2

3. 羅臼町の医療

<医療の歴史> ・昭和35年 町立国保病院は新築（54床）

・平成12年 療養型病床群（48床）に転換

・平成19年 看護師不足から病棟閉鎖

・平成20年 町立診療所へ転換（19床）

・平成24年 公設民営 指定管理者制度のもと釧路孝仁会が運営

4. 診療所の概要

<理念>

1. 私たちは、町民の皆さまが生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活をおくることのできるように、関係機関と連携し、より良い医療・保健・福祉サービスの提供をめざします。
2. 患者さんが安心してかかることのできる安全で質の高い、思いやりと笑顔のあふれる診療所をめざします。
3. 職員が気持ちよく仕事のできる職場づくりをめざします。

小さな診療所ですが、透析療法をはじめ、初期救急医療・入院治療・予防接種や健診などの保健予防・リハビリ・在宅医療から終末期医療まで、町民の皆様が地元で必要な医療が受けられるよう、他職種協働で医療の継続・提供をめざしています。

<看護部理念>

- ・質の高い看護の実践をめざします。
- ・人材を育成し、医療チームとの協働によって 地域に貢献します。

<病床数> 14床 透析 3床

<職員数> 36名 + 通所リハ 3名

医師 1名

看護師 12名 准看護師 6名

(正職員12名 うち短時間正職員4名 / 産休0名 / 夜勤専従1名)

(契約職 1名)

(パート職 4名)

看護補助者 4名

クレーク 2名

放射線技師 2名 ・臨床検査技師 1名 ・臨床工学技士 1名

事務 6名

※通所リハビリセンター PT 1名 OT 1名 リハ助手 1名

※外注：給食・清掃・血液検査センター

<診療科目>

- ・内科 ・外科 ・小児科 ・麻酔科
- ・専門外来（脳神経外科・循環器内科・整形外科・皮膚科・婦人科）

<施設基準>

- ・基本診療料:

有床診療所入院基本料 1

有床診療所一般病床初期加算

看護配置加算 1

看護補助加算 1

夜間看護配置加算 1

看取り加算

夜間緊急体制確保加算

退院調整加算

有床診療所緩和ケア診療加算

明細書発行体制加算

時間外対応加算

透析液水質確保加算 1

- ・特掲診療料

ウイルス疾患指導料

ニコチン依存症管理料

MRI（1.5 テスラ以上 3 テスラ未満）

1 6 列以上 6 4 列未満マルチスライス CT

地域プライマリ相互研修プログラム

NO.2

1. 研修の概要
<p><研修の目標></p> <ul style="list-style-type: none">・医療偏在のへき地・遠隔地において、外来・訪問看護・入院病棟を包括的に経験することで、地域医療及び患者（住民）の生活を支える介護・福祉サービス・退院支援の実際を理解する。・へき地救急診療所の役割を理解し、適切な医療・看護の提供ができる。・社会資源の少ない地域での包括ケアシステムの一員として、地域特性を理解しながら看護の提供ができる。
<p><病棟業務></p> <ul style="list-style-type: none">・日勤 8：00～17：00・夜勤 16：30～8：30（ 4～7 回／月程度 ）（夜勤時：看護師1名・看護補助者1名体制）・待機 5～6回 / 月 （待機体制：看護師・放射線技師・検査技師（血液検査）各1名）・病棟リーダーの役割 ・病棟カンファレンス（1/週）
<p><一般外来></p> <p>専門外来（脳外科・整形外科・皮膚科・婦人科・循環器）へのニーズの把握。 外来での問診を通し、患者（住民）の生活・労働等の実態を知り、療養指導の実施。</p>
<p><救急患者の受け入れ></p> <ul style="list-style-type: none">・救急診療所であり、1次から3次救急の症例が搬入されるため幅広い救急の知識の獲得。・少数人数でのチーム医療・緊急時の判断力・コミュニケーション力の獲得。
<p><在宅支援></p> <ul style="list-style-type: none">・入院中からの退院支援を通し、在宅療養生活の支援の関わりを理解。・訪問看護・訪問診療に同行し、地域での在宅生活のあり方を理解。
<p><委員会参加></p> <p>医療安全管理委員会・感染対策委員会・教育委員会</p>
<p><健康講座企画参加></p> <p>まち愛ホール健康講座・住民対象のカフェ（健康教室）等の企画・運営への参加</p>
<p><地域との会議の参加・研修></p> <p>ケアマネージャー会議（1回/2か月）保健師会議（1回/1か月）地域ケア会議（1回/月） 救急症例検討会（1回/月）小規模施設間交流研修（根室管内9月～12月）</p>
<p><地域交流></p> <ul style="list-style-type: none">・5月：町内会ごみ拾い&山菜取り 雪かべウオーク・6月：知床開き（地域祭り）・7月：知床探検隊救護・9月：漁り火まつり・10月：国後駅伝参加または救護・RISの会参加（ワインパーティ・クルージング等）※住民自主組織：羅臼（R）の医療（I）を支える（S）会

プログラム責任者

〒086-1823

北海道目梨郡羅臼町栄町100番地83

社会医療法人孝仁会

知床らうす国民健康保険診療所

☎ 0153(87)2116

Fax 0153(87)3550

羅臼町ホームページ：<http://www.rausu-town.jp/>

メールアドレス：shiretoko.rausu.clinic1@gmail.com

看護師長 相馬 智子

